

# 「エコアクション21」取得で、環境配慮型企业に!

特集2  
環境にやさしい企業をめざして

認証・登録のご紹介

## Eco ACTION 21

「エコアクション21」という制度をご存知ですか? 従来、環境関係のマネジメントシステム制度といえば「ISO14000シリーズ」が目立っていましたが、近年は「エコアクション21」を取得する企業が増えつつあります。

### 「E」アクション21とは?

環境マネジメントシステム制度には、一般に取得が容易と言われている順番に「環境にやさしい優良企業認定制度」「事業所版環境ISO認定制度(ECOうつのみや21)」「エコアクション21」「ISO14001」などが主なものです(別表参照)。

このうち「エコアクション21」は、環境省が定めた環境経営システム・取り組み・報告に関するガイドライン(エコアクション21ガイドライン)に基づく制度です。

このガイドラインに基づいて、一般財団法人持続性推進機構エコアクション21中央事務局発行のパンフレット「エコアクション21認証・登録制度」には、次のように書かれています。

「広範な企業、学校、公共機関等の全ての事業者が環境への取り組みを効果的、効率的に行うことを目的に、環境への目標を持ち、行動し、結果を取りまとめ、評価する環境経営システムを構築、運用、維持するとともに、社会との環境コミュニケーションを行うための方法として環境省が策定したものです」

このガイドラインに基づいて実行している企業(事業者)を、認証し登録する制度が、この「エコアクション21」の認証・登録制度です。

### 「PDC Aサイクル」の重要性

表に「PDC Aサイクル」とあるのは、「P(プラン)」「D(計画)」「D(トウ)」「C(チェック)」「A(アクション)」の順に実行するサイクルです。

制度名	ISO14001	事業所版環境ISO認定制度(ECOうつのみや21)	環境にやさしい優良企業認定制度	エコアクション21
制度概要	国際規格 環境マネジメントシステム(PDCAサイクル)	市内規格 簡易環境マネジメントシステム(PDCAサイクル)	環境活動認定制度(環境対策評価項目提案提出・実施(D)のみ)	国内規格 簡易環境マネジメントシステム(PDCAサイクル)
創設主体	国際標準化機構(ISO)	宇都宮商工会議所 宇都宮市	宇都宮商工会議所	環境省 EA21地域事務局とちぎ (平成17年4月1日)
創設年	平成8年(1996年)	平成17年8月(2005年)	平成14年11月(2002年)	平成16年(2004年)本格実施 (1996年環境省が策定)
対象	全ての事業者	宇都宮市内の主に100人未満の事業者	宇都宮商工会議所の全会員	特に中小業者
費用負担	600~1,000万円程度(従業員100人程度)	原則1万円	なし	30万円程度
構築期間	1年以上	3カ月程度	3カ月程度	半年~1年程度
審査概要	審査登録制度 JAB(日本適合性認定協会)認定の審査登録機関が審査	審査登録制度 審査人が現地審査 ・事業所版環境ISO認定委員会が認定・登録	登録制度 環境にやさしい優良企業認定委員会が申請書類に基づき認定	審査登録制度 EA21審査人が審査 ・地域事務局が判定の可否 ・中央事務局が認定・登録

(平成23年11月現在)

各種環境マネジメントシステム制度の特徴

### 登録企業の紹介

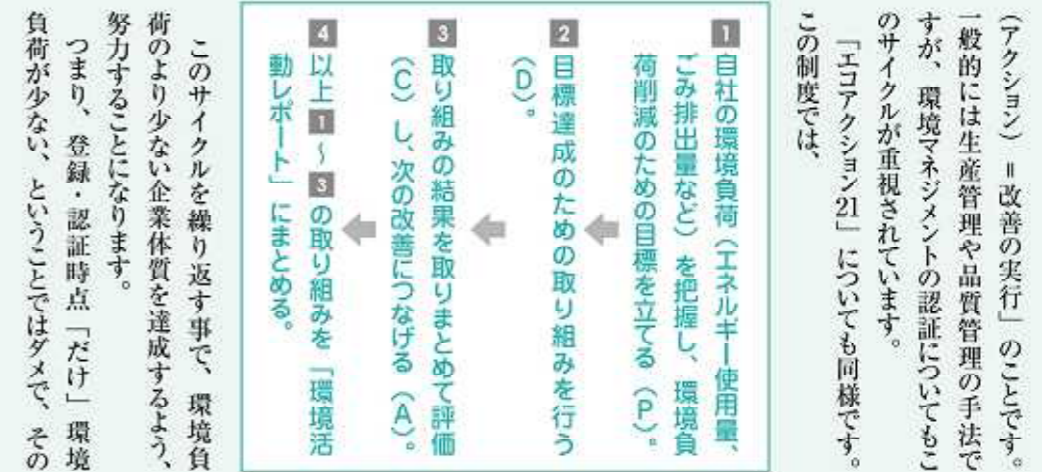
**電** チャレンジ企業紹介  
子レンジなどで使われるマグネロン用の部品や、電子管部品であるセラミック部品などを製造する東京セラミックス(株)は、平成18年8月にエコアクション21を取得しました。取得後の経緯や、その後の推移などについて取締役副社長兼工場長の福田信幸さんと、同社環境委員会事務局の中山千恵子さんにお話を伺いました。

私どもは大手企業との取引がほとんどであるため、従来より環境マネジメントシステム制度の導入を検討していましたが、最初に目指したのは、やはりISO14001です。しかし勉強会に参加したり、さまざまな制度を調べたりしているうちに、エコアクション21を知って「私どもにはこちらの方が合っているのではないか」と考えるようになりました。

そう考えたポイントは、一つには取得費用や維持費用です。ISOは最低でも取得に100万円以上、維持に毎年30万円~50万円以上かかります。それに比べてエコアクション21は、登録料が最高でも30万円と、大きく差があります。

また、取得のための要求事項もISOに比べてシンプルで、私どもの規模の企業でも挑戦しやすいものだと考えました。

そこで正式に取得に取り組みするに決まりましたが、最も大変だったのは、データの整理(エネルギー使用量などの環境負荷関連データ)です。データが無ければ目標設定もできませんし、そもそも現状が分かりません。ガスや水道



状態を維持し、さらに負荷減少の努力を行うことが大切なのです。

### 取り組みメリットは?

本制度は、ガイドラインがしっかりしているため中小企業でも取り組みやすい制度であり、国際的な基準である「ISO14001」よりはるかに容易です。また国内では最も高度な制度であるため、大企業との取引時にも有利に働きますし、低利融資制度も充実しています。つまり、経営面でさまざまなメリットがあります。これらも、近年になって注目度がアップしている理由でしょう。

とはいえ、認証やその後の維持には、企業全体が一致団結して努力することが不可欠です。そこで、実際に取得している企業に、取得の苦労やその後のアプローチをうかがいました。

### 東京セラミックス(株)

東京セラミックス(株)  
(本社)  
東京都港区虎ノ門1-7-7  
(宇都宮事業所)  
宇都宮市平出工業団地46-7

### 「ISO14001よりも取得しやすく、中小企業に合った制度だと思います」

などは伝票で測る事ができますが、それ以外のものは1年かけてデータを蓄積しました。

同時に社内体制もきちんと整えました。最高責任者や環境管理責任者、各部門のリーダーなどを定め、会社全体で取り組むことができるようにしなければ、取得は難しいと思います。

こうした取り組みの結果は、数字にすぐに現れました。例えば平成18年から19年にかけて、電力は260万円削減を達成しました(宇都宮事業所)。最初の3年間は、ほぼ全ての部門で、大きな削減を達成しています。

ただ、こうした努力は、どうしてもある程度で頭打ちになります。そこで近年の取り組みとしては、例えば紙を再生紙にするなど、エコ商品比率を高めるなどの方法をとっています。

こうした取り組みは社員への意識づけが重要です。毎月の目標達成度管理や、社員によるミーティングなど、さまざまな方法で意識づけを図っています。これらが達成の大きな理由ではないでしょうか。上が言うだけでなく、社員がその気になる工夫が不可欠だと思います。(談)

東京セラミックス(株)  
取締役副社長兼工場長 福田信幸さん

